

2024年度「学生による授業評価アンケート」結果について

1. はじめに

本報告書では、2024年度前期の授業評価アンケートの結果について考察を行います。本アンケートの目的は、授業の質を向上させるために学生からのフィードバックを収集し、改善点を特定し、後期以降の授業の質の改善に努めるためのものです。

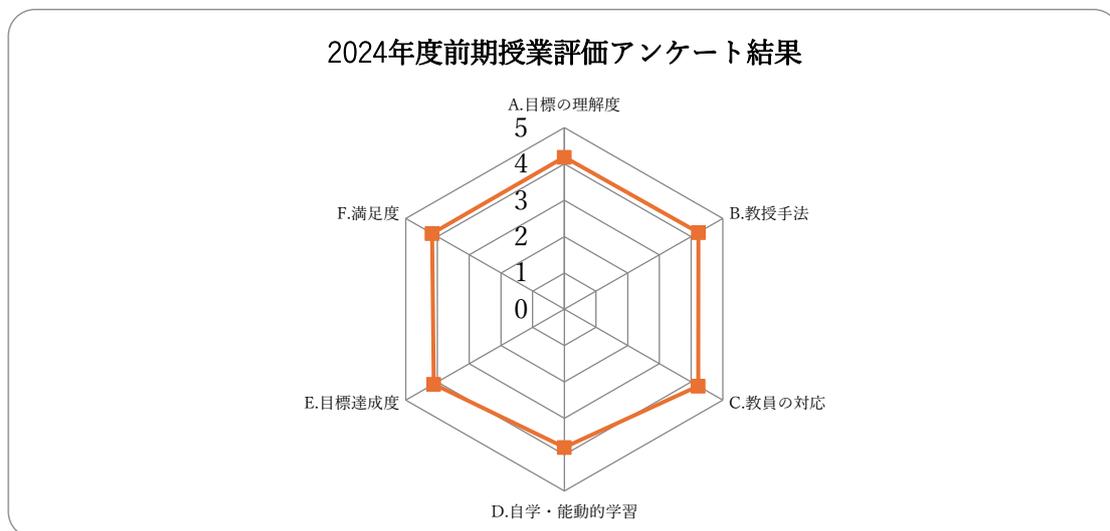
2. アンケート結果

アンケートには回答者数は1855名、履修登録者数は7043名（どちらも延べ人数）で回答率は26.3%全体の評定平均は4.16/5でした。特に遠隔授業における課題・授業・資料等の配信の項目評定平均は4.27と高く、2022年度、2023年度に引き続きGoogle Classroomの活用が十分にできているのがわかります。また、特に教員の対応に関する評定平均も4.22と高く、声の大きさ、質問への対応、遅刻や私語など授業態度への対応も非常に良かったというアンケート結果になっています。一方、授業の目的達成度や自学・能動的学習の項目の評定平均は平均より低くなっています。

カテゴリー	No	設問	評定平均
A.目標の理解度	1	1.シラバスや最初の講義等で、この授業の目的や目標を理解して受講した。	4.19
B.教授手法	2	2.この授業は適度な早さで進められ、分かりやすかった。	4.15
	3	3.教員の声の大きさや話し方は、分かりやすかった。	4.24
	4	4.黒板やホワイトボードの（オンラインの場合は画面に表示された）文字や資料、パワーポイント等の内容は、分かりやすかった。	4.15
	5	5.この授業は、予定時刻通りに始まり、予定時刻通りに終了していた。	4.37
C.教員の対応	6	6.教員は、学生の遅刻や私語などにきちんと対応し授業の適切な運営維持に努めていた。	4.23
	7	7.この授業では、学生の相談や質問等に対し、教員は分かるように対応していた。	4.21
D.自学・能動的学習	8	8.この授業に関する参考図書を読んだり、各種情報（新聞・雑誌、Webなど）を自分で調べたりした。	3.58
	9	9.この授業では、授業外学習（予習復習・課題など）の必要性や内容についてきちんと説明があった。	4.02
E.目標達成度	10	10.この授業では、シラバスや講義等で示されていた目標に到達することができた。	4.12
F.満足度	11	11.この授業は全体として満足できる内容だった。	4.17
G.その他	12	12.遠隔授業における課題・授業・資料等の配信は適切に行われた。	4.27

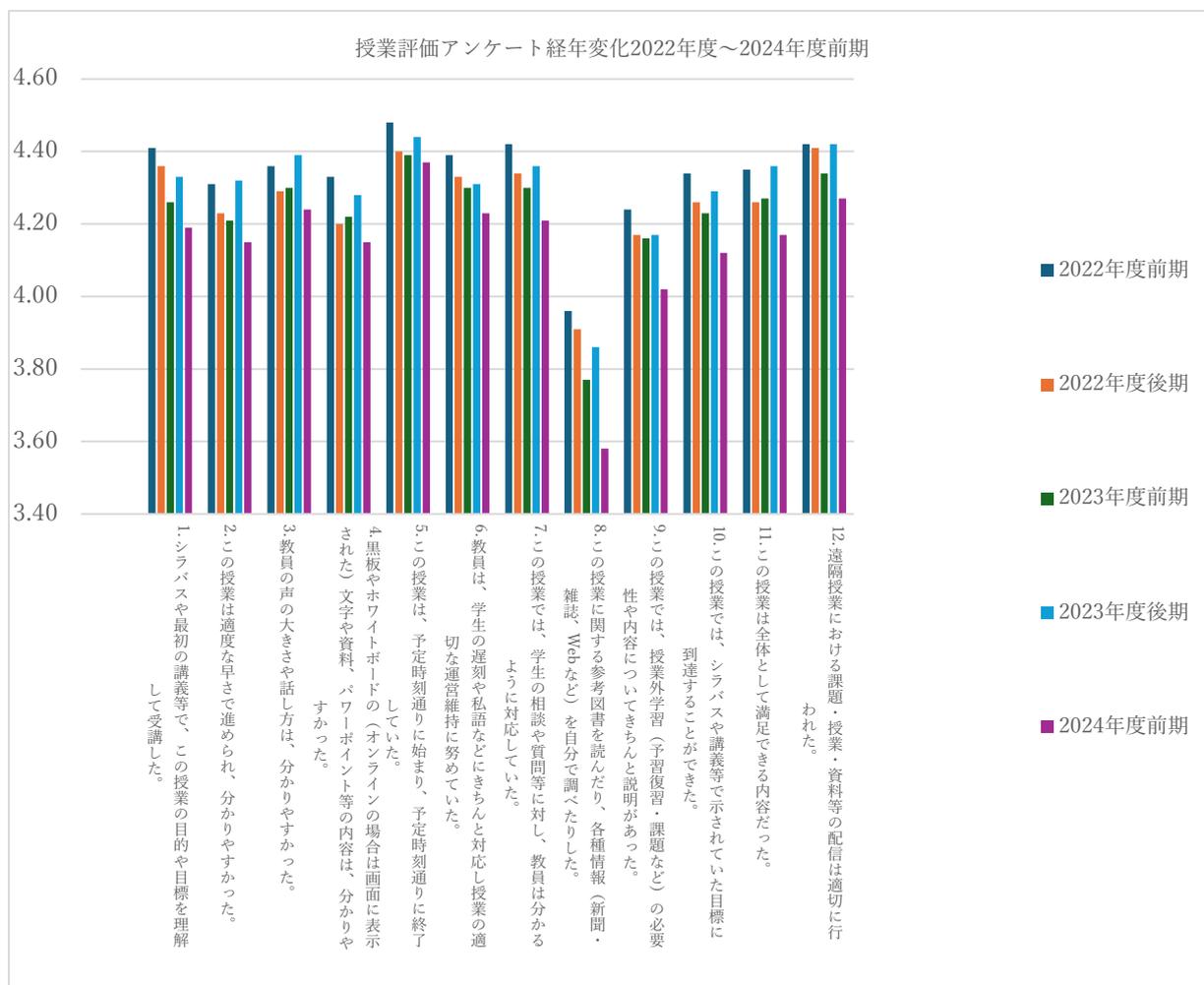
3. 詳細な考察

教員の対応力が高く評価されている一方で、自学・能動的学習や目的達成度の項目での低評価が目立ちました。これに対する改善策として、明確な授業の目的の設定と学生へのその周知や具体的な自学の提示などが必要であることがわかりました。



4. 前年度、前々年度との比較

全設問において評定平均が低くなっています。特に自学・能動的学習のカテゴリーの低下が目立ちます。逆に評価が上がっている設問はありませんでした。



5. 課題と改善策

シラバスにある授業の到達目標の学生への周知が必要です。また授業外の学修について読んで欲しい参考書や、課題への取り組み方などを具体的に伝達することが必要です。